



## 「9月市議会終えて!新型コロナ/経済対策予算を可決!

——— 迫る市長選挙!そして来春「市議会議員選挙が実施」されます! ———

9月の台風14号以降、夏の猛暑も緩み、秋への季節を変わり目が感じられるようになりました。日頃から「上田よしひろ」に対しましてご指導・ご支援に感謝申し上げます。

新型コロナウィルス感染の終息まで至らない中、マスコミ報道では、「ロシアのウクライナ侵攻」、「宗教団体と政治・政治家との関わり」、「安倍元総理の国葬」などと言った問題が数多く報じられ、熊本市議会でも一般質問や意見書審査で論じられました。

取り巻く状況に対し国民・市民へは、国政・地方議会はきちんとした説明責任を果たし、信頼される政治が必要不可欠であります。現状、そうした国民の負託に応えているのかを自問自答し、活動していかなければならないと考えます。

いよいよ来春は、熊本市議選が行われます。5期の挑戦となりますが、引き続き「市政に全力投球!」との不退転の決意を持ち日々精進する思いです。「上田よしひろ」に対しましてご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 第3回定例会（9月議会）報告

9月5日～30日の日程で、熊本市の9月定例会市議会が行われました。9月議会では、補正予算・条例案件以外に、令和5年度以降、「1局1部新設、職員の定年65歳への引上げ、福祉専門職等の拡充」といった熊本市の組織・職員体制の大幅な見直し方針が示されました。

特に、福祉専門職等の拡充には、生活保護ケースワーカーや児童相談所の専門職員の不足解消に向け、「適切な配置人員数の確保」すること、職員が取得する「育児求職者の代替え職員の確保（年100名程度）」など、本年12月議会への「職員定数条例の改正」に向け取り組まれます。

#### 補正予算

新型コロナ関連として68億7,000万円、通常分として60億4,680万円の総額129億2,254万円の増額補正を可決しました。

主な内容は以下の通りですが、特に、議会中に追加提案された「電力・ガス・食糧品等「価格高騰緊急支援給付金52億7,500万円」については、「住民税均等割りが非課税の世帯（約9,500世帯）」、非課税世帯以外でも、家計が急変し非課税世帯と同水準となった（約1,000世帯）を対象に、一部申請が必要となりますが、基本的に1世帯5万円を PUSH 型支援するものです。本市では11月下旬以降、準備が出来次第に対象者への給付に向け準備されています。

#### 【補正予算の主な内訳】

##### ①新型コロナ関連(68億7,000万円余)

- i) オミクロン株に対応したワクチン接種(37億9,300万円)
- ii) PCR検査・入院医療費の増額分(22億6,780万円)
- iii) 熊本市に宿泊する旅行商品の割引補填(6億円)
- iv) 公共交通「バス・電車無料の日」実施(5,000万円)

##### ②通常の補正 (60億4,680万円余)

- i) 価格高騰緊急支援給付金(52億7,500万円)※前述
- ii) マイナンバーカード交付の出張申請・窓口強化(3億円)
- iii) 老人福祉施設「整備と開業準備支援」(3億500万円)



#### 主な条例案件

##### ①熊本市防災基本条例の制定(本年10月施行)

※風化しつつある防災意識の高揚と、あらためて「市・市民・事業者などの役割を明確化」を図り、地域防災力強化に取り組む。

##### ②市職員の定年引上げに関する条例の一部改正

※令和5年4月から、現行60歳定年を65歳定年とするもので、具体的には、令和13年度まで2年に1歳ずつ引き上げる。

##### ③手数料条例の一部改正

※マイナンバーカード利用による住民票取得の手数料を「200円 → 10円」(他6種類あり)とする。令和5年3月まで(マイナンバーカードの普及促進策)

#### 「子ども局」「森の都推進部」の新設

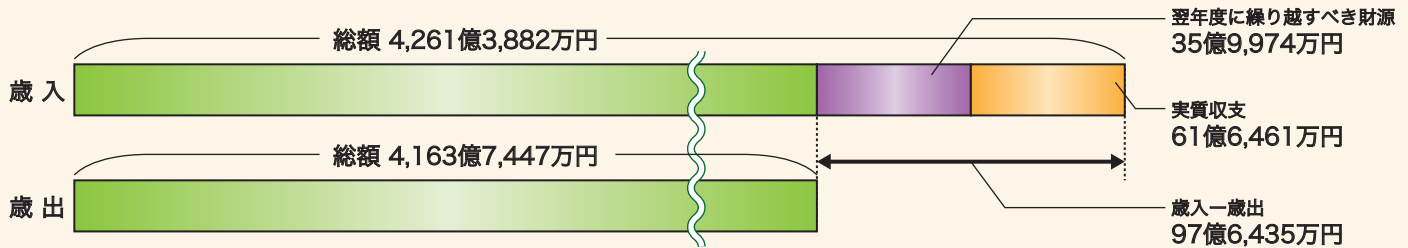
前述以外の議論では、令和5年4月からの組織改編として、「①子ども局」設置、「②森の都推進部」新設する方針が示されました。

子ども局設置については、現在、健康福祉局で対応している「子ども・子育て家庭」に関するものを集約し、全庁的・総合的なけん引役を担っていくものです。

また、森の都推進部については、現行、5局と教育委員会で分散所管している「公園・街路樹・森林・学校樹木などの緑業務を集約」し、緑の総合的・戦略的な取り組みの推進を目的に設置されます。



毎年度の第3回定例会(9月議会)では、前年度に「収入がどれだけあったか、また実施した事業と費用がどう使われてきたか」、更には、市全体の予算規模に対し、借金がどれだけあるのかなど、将来見通しを含め議論し、熊本市の行政運営が適正に行われているのか審査・承認を行いました。



#### 【令和3年度「一般会計」の歳入・歳出について】

- ★前述の通り、**令和3年度「熊本市は、97億6,435万円の黒字」**となり、この内、翌年度に繰り越すべき事業経費35億9,974万円を除き、「実質収支は、61億6,461万円」となりました。
- ★この実質収支は、過去3年においても「50～60億円」となっており、決算面においては、**本市財政は健全な状態にある**と考えます。
- ★**財政の規模(全体の歳入・歳出)**で見ると、平成30年は約3,800億円、年度を重ねる毎に増加しています。この傾向の要因は、「熊本市の政令市移行や、熊本地震の復興、新型コロナ対策経費の増」の影響が大きく、引き続き、限られた財源の有効活用に向け、「市民の皆さんの声・要望」にきっちり応えていくために尽力する覚悟です。

## 迫る熊本市長選挙！



10月30日告示／11月13日投票で行われる「熊本市長選挙」。現時点では、**現職で3期目をめざす「大西一史」氏が、9月議会の議場で立候補表明**をしました。



大西市長は、「2019年熊本地震」、終息が見えない「新型コロナウイルス対策」といった危機的状況の中、誰もが憧れる「上質な生活都市・くまもと」をめざし奮闘しています。

この間、熊本地震からの復興に際しては、誰一人取り残さない取り組み、新型コロナ対策としては、5回の「熊本市医療緊急事態宣言」を行い、医療がひっ迫する中での感染拡大防止に取り組むとともに、大きく低迷する地域経済の立て直し支援を柱とした32回にわたる経済対策を行い、実に1,700億円を超える予算が投じられています。

熊本市には、新型コロナ終息への取り組み、市役所の庁舎建て替え、交通渋滞対策、少子高齢社会へのきめ細かい対応など、課題山積していますが、私「**上田よしひろ**」は、**今後の大西一史氏へ「大きな期待を込めてエールを送る」**考えであります。

## 来春の統一地方選挙！ に向けて



来年3～4月にかけて「統一地方選挙」が行われ、熊本市でも、「県議選・市議選」が同時実施されます。熊本市議選では、定数改正が行われ「**中央区定数が11→12名**」となります。

前回の結果(2,882票/10位)から大変厳しい状況がある中、数多くの候補者が現時点で立候補準備を進めているようです。

強い危機感を持ち精いっぱい頑張っていく所存です。どうぞ変わらぬご指導・ご支援をお願い致します。

### 「上田よしひろ」プロフィール

熊本市議会議員(現在4期目/中央区選出)

1967年3月26日 熊本市生まれ(55歳)

住 所：中央区大江1-25-36-1302

事務所：中央区新屋敷3-7-5

**議 会** 総務常任委員会・予算決算副委員長  
熊本市公共交通協議会

**地 域** 大江校区：6 町内自治会長・体育協会長・消防分団員  
交通指導員  
白川校区：自治協議会顧問・コミセン副会長/保護司

**その他** 県立第二高校「りんどう会理事、経済同友会員」

**経 歴** 大江小・白川中・県立第二高校  
現 NTT 西日本熊本支店  
熊本市PTA協議会長・大江小父母と教師の会長  
白川中PTA会長